

## 令和4年(2022年)度 地域連携活動報告書

連携先名称：ワタミ株式会社

協定締結日：令和3年3月12日

活動状況：継続中

連携先窓口：ワタミエナジー株式会社 落合 美樹雄 氏

活動資金：アイテムを選択してください。

担当教員(所属)：国際食料情報学部 国際食農科学科 上岡美保

活動体制(単位)：大学

関連教員(所属)：

醸造科学科 本間 裕人 准教授、地域創成科学科 藤川 智紀 教授

活動目的：東日本大震災被災地・岩手県陸前高田市におけるワタミオーガニックランド事業(全23ha規模、ガレキ撤去後約5mのかさ上げ地)の完成に向けて必要な調査・分析・研究等を中心に、同事業及び協定事項に関する研究分野の支援や人材育成。その知見をワタミファームが営農する地域へ展開(地域農業貢献)。

活動内容・成果：

まず、ワタミオーガニックランドについては、耕土基盤整備にアドバイスをを行った結果、モデルエリアがオープンしており、畑エリアでの野菜栽培や来場者が簡単な体験やバーベキューを楽しむこともできる。21年4月に植樹をおこなったワイン用ブドウの樹も24年からのワイン造りの計画にむけてアドバイス(土づくり、ブドウ栽培、技術指導)等を実施している。

2022年度については、主として、陸前高田でのワイン用ぶどう栽培の開始に向けた栽培指導ならびに、過去に排水改良した現場の状況に関する情報共有と、現在ブドウ畑で実施しているソーラーシェアリングの効果に関する意見交換を実施した。

2月13日には関係者間での報告会にて情報共有と次年度以降の活動内容についての意見交換を実施した。

〈参考URL〉

ワタミオーガニックランド

[https://watami-organic.jp/blog/watami\\_organicland](https://watami-organic.jp/blog/watami_organicland)

課題・改善点：

当初の予定では、陸前高田での①ワイン用ぶどう栽培：栽培指導、事業計画作成支援の他、②菊芋の6次産業化支援、事業計画支援、商品開発支援、③他のワタミファーム立地地域における商品開発の可能性検討も計画していたが、未だ新型コロナの影響もあり、特に②③については、十分に計画内容の遂行ができない部分もあった。

今後、これまでのブドウ栽培・ワイン製造に向けた技術指導、研究を継続するとともに、可能な範囲でのオーガニックランド全エリア完成（現在、全23haに対して現在6haが完成）に向けた調査・研究支援を随時、実施する方針。特に、今後開発が予定されている大規模圃場エリア（約10ha）の耕土整備における地域の有機物（食品残渣、漁業廃棄物、下水道脱水汚泥等）の有効活用による循環・脱炭素化へのアドバイス、あるいは地域6次産業化へのアドバイスを行う予定。更に、それらの知見を活かし、ワタミファームが事業を行う地域でのゼロからの農地整備に展開し、地域農業振興のアドバイスを行う。